

図書便り

男女共同参画センター“いこ～る”プラス（JR長岡京直結長岡京市立総合交流センター6F）は、男女共同参画に関する約1,600冊の図書を貸出しています。ぜひご利用ください！



おとこ
特集 男の人生

～人にはそれぞれの生き方、ステージがある～

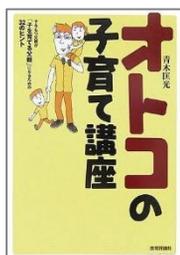
2/19(土)開催講座「家事シェアのトリセツ」の講師の著書



家事でモメない部屋づくり

三木智有/著
ディスカヴァー・トゥエンティワン/刊

みんなが暮らしやすい部屋づくり・家づくりは、家族のコミュニケーションから。家族皆で暮らしのコンセプトを決め、ルールを作り、それから仕組みをつくる。子育て世代である著者は、子どもの成長とともに変わる理想の部屋環境にも言及。



オトコの子育て講座

青木匡光/著
教育評論社/刊

父親の「子育て」について書かれた本。「子育ての心構えとは?」「存在感のある父親になるには?」「家族の会話をもっと楽しくするには?」などの32のQ&Aが「子を持つ父親が『子を育てる父親』になるためのヒント」として記されている。



男たちのワーク・ライフ・バランス

ヒューマンリソース研究所/編著
幻冬舎ルネッサンス/刊

仕事も家族も自分もどちらも大切、あきらめられない。「仕事と子育ての両立」という女性たちがこれまで悩んできた問題が、男性の前に迫って来ている。男の本音を通して、今を生きる男性のワークライフバランスを考える。



シニアいきいき納得ライフ 老後の生活づくり20のヒント

沖藤典子/著
佼成出版社/刊

8人(組)のシニアを取材して書かれた本。元気な自分を作り上げるための人生デザインを、それぞれの生活から学べる。住まい、仕事、社会活動、ボランティアなど様々な要素を総合して、それぞれの人が自分の納得できる生活を送っている。



捨てられる男たち 劣化した「男社会」の裏で起きていること

奥田祥子/著
SBクリエイティブ/刊

長年男性の生きづらさを取材してきた著者が「男社会」の実態に迫る本。時代が移り変わる中“男らしさ”の定義も変わる。男性優位社会の変化に対応できない人達が出てきて、意図的にも無意識的にも各種ハラスメントが行われている、と著者は述べる。



社会と女性・女性の貧困

1/24(月) 開催「女性の貧困のからくりを知る」の講師著書



子づれシングルの社会学 —貧困・被差別・生きづらさ—

新着

神原文子/著
晃洋書房/刊

子づれシングル女性対象の調査やインタビューをもとに、生活者としての実態や抱える問題、生きづらさを描き出す。女性の貧困と子どもの貧困の関係や人権について言及。女性たちの自由、尊厳、安定の実現のために必要な社会的支援策についても提言する。



貧困のなかで おとなになる

中塚久美子/著
かもがわ出版/刊

新聞記者である著者が2008年から2012年春にかけて取材・新聞掲載した内容をまとめた本。教育・医療という社会制度からはじかれた子どもたち、貧困の連鎖を止める「学び」と「居場所」の支援の実際など、子どもたちの実情がリアルに描かれている。



女性の権利 ハンドブック 女性差別撤廃条約

赤松良子/監修
国際女性の地位協会/編
岩波ジュニア新書 岩波書店/刊

女性の権利の国際基準として、1979年に国連で採択された「女性差別撤廃条約」。女性の地位や権利がそれにふさわしいものになっているか、男女共同参画社会の実現を目指し、条文ごとに解説しながら、その課題を明らかにする。



フェミニズムはもういらない、と彼女は言うけれど ポストフェミニズムと「女らしさ」のゆくえ

新着

高橋幸/著
晃洋書房/刊

「女らしさからの自由」と「女らしさへの自由」の実現とは。「ポストフェミニズム」の視点から、若い世代の意識調査データを分析し、SNSや「添い寝フレンド（ソフシ）」経験者などへの調査を通じて、現代社会における「女らしさ」のゆくえを追う。



女の絶望

新着

伊藤比呂美/著
光文社文庫 光文社/刊

「夫と話すことがありません」等、読者からの身の上相談に五十代前半の詩人兼回答者「伊藤しろみ」が迫力と説得力をもって答える。不倫、セックス、子離れから、更年期、離婚、親の介護まで、女の人生の絶望と希望が詰まった一冊。

情報コーナーの利用について

貸出：1人2冊まで、2週間（延長可）

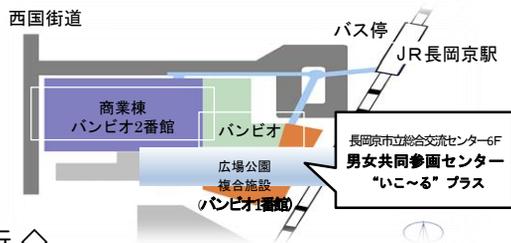
対象：長岡京市在住・在勤・在学の人

※図書の出しには

「情報利用者カード」の登録が必要です。

カードの登録には、運転免許証など、

本人確認が出来るものをお持ちください。



◇ 編集・発行 ◇

長岡京市男女共同参画センター「いこ〜る」プラス

〒617-0833 京都府長岡京市神足2丁目3番1号

長岡京市立総合交流センター6階

TEL 075-963-5501 FAX 075-963-5521

E-mail: danjo-c@city.nagaokakyo.lg.jp

開館時間：午前9時～午後5時（日・祝を除く）

